

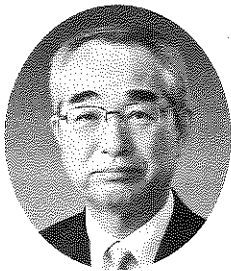
福島退職公務員連盟 会報

発行日 令和8年(2026年)4月20日
 発行所 福島県退職公務員連盟
 〒960-8043 福島市中町5-21(消防会館)
 TEL・FAX 024(522)0612
 URL <https://fukushima-taikouren.com>



令和8年度評議員会が4月13日に開催されました

役員改選があり、畠新会長の選任や事業計画・歳入歳出予算などが承認されました。



就任のご挨拶

会長 畠 利 行

会員の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、私こと、4月13日の評議員

会で、福島県退職公務員連盟の会長に選任されました。

もとより微力であり、室井勝前会長さんのような強力なリーダーシップでという訳には参りませんが、責務の重要性を認識し、誠心誠意努力する覚悟でありますので、よろしくご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

これまでいろいろとお話を伺って参りましたが、日公連をはじめ退公連の当面する大きな課題は、①会員数の確保を図り、組織の強化を図ること。②年金制度をはじめ社会保障

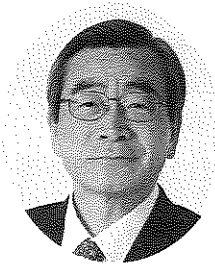
制度の安定化を図ること。③人生100年時代にあつて、いかに元気に過ごしていくか。であると考えております。

退公連に入っていて良かったと言ってもらえるような組織を目指して活動を展開していきたいと思っています。

日公連では財政難のおりから、日公連全国大会を隔年開催とするなど事業の見直しを図るとともに、各都府県退公連の分担金が令和8年度から見直されました。各退公連も会員減少により財政状況が悪化して活動に支障をきたすようになってきています。このため、会員勧誘に努め一人でも多くの会員を確保すべく、これまで以上に御尽力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

退任のご挨拶

前会長 室 井 勝



春うらかな季節となりました。会員の皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

私こと このたび、福島県退職公務員連盟会長を退任致しました。

平成27年4月就任以来、11年間、退公連役員・各支部役員の皆様並びに会員の皆様には、多大なご協力を賜りありがとうございました。お蔭様で退公連活動に全力を挙げて取組むことができました。

また、この間には、日本退職公務員連盟副会長、社会保障対策委員長も経験致しました。

在任中の、会員の皆様からのご厚情に対し厚く御礼申し上げます。

私から申し上げるまでもなく、今、退公連

を取り巻く状況は、厳しいものがあります。喫緊の課題は、会員の高齢化等の中で会員数の減少をどう食い止めるかです。

どうか、会員の皆様におかれましては、組織の強化を図り、退公連の使命でもあります「私たち年金生活者の生の声を国に届けること」と「退公連をして人生100年を見据えた生きがいの場とすること」を目指し、原点に戻り、「あきらめない気持ち」「活動への情熱」を心に持って、会員が一体となって退公連をつくり上げていくことをご期待致します。在任中は大変お世話になりました。ありがとうございました。今後は一会員として貢献して参りたいと考えております。

最後に、会員皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、退任のご挨拶といたします。

令和8年度事業計画

〈事業計画の基本方針〉

1. 「退職後の安全・安心な暮らしを守る」退公連としての組織創立の原点に立ち返り、会員勧誘を積極的に推進する。
2. 会員勧誘に当たっては、65歳定年制の実施を踏まえ、職場・地域など、あらゆる人脈を総動員して行う。
3. 退公連活動状況をホームページで発信するのをはじめ地元新聞等への掲出依頼など、「退公連活動の見える化」に取り組む。
4. 年金等の社会保障制度の現状や課題の広報・周知と要望活動を実施する。
5. 社会・公共のニーズにも配慮した福祉関連事業・社会貢献活動を推進する。

6. 東日本大震災後15年経過したが、被災・避難会員との絆を大切にするとともに、全国各地で発生する自然災害に対しても連携を強める。

令和8年度 主な事業計画の概要

月 日	年間行事予定
4月13日	評議員会 (各支部長等)
5月8日	第1回理事会 (会長・副会長等)
5月13日	支部連絡会議 (各支部事務局長)
7～8月	〈国会議員への夏期要望活動〉
9月9日	県大会 (会津大会)
9月24日	東北地区協議会 (会長・事務局長)
3月12日	第2回理事会 (会長・副会長等)

〈令和7年度 歳入歳出決算の概要〉

[歳入の部] 単位 円

科 目	決 算 額	付 記
1. 支部負担金	4,130,000	会費収入
2. 繰入金	200,000	積立金からの繰入
3. 繰越金	591,497	前年度からの繰越
4. 諸収入	525,428	手数料等
歳入合計	5,446,925	

[歳出の部] 単位 円

科 目	決 算 額	付 記
1. 事務費	3,113,073	事務経費等
2. 負担金	497,000	日公連分担金等
3. 事業費	1,358,960	
(1)役員会費	164,520	理事会開催経費等
(2)全国大会費	138,540	全国大会参加経費
(3)県大会費	0	
(4)事業活動費	450,151	支部連絡会議等
(5)会報発行費	520,800	会報4回発行費
(6)表彰慶弔費	84,949	百歳賀寿等
4. 積立金	200,000	県大会開催経費積立
5. 予備費	0	
歳出合計	5,169,033	

〈令和8年度 歳入歳出予算の概要〉

[歳入の部] 単位 円

科 目	予 算 額	付 記
1. 支部負担金	3,849,000	会費収入
2. 繰入金	400,000	積立金からの繰入
3. 繰越金	277,892	前年度からの繰越
4. 諸収入	344,000	手数料等
歳入合計	4,870,892	

[歳出の部] 単位 円

科 目	予 算 額	付 記
1. 事務費	2,702,000	事務経費等
2. 負担金	572,000	日公連分担金等
3. 事業費	1,527,000	
(1)役員会費	162,000	理事会開催経費等
(2)全国大会費	0	
(3)県大会費	400,000	会津大会開催経費
(4)事業活動費	484,000	支部連絡会議等
(5)会報発行費	381,000	会報3回発行費
(6)表彰慶弔費	100,000	百歳賀寿等
4. 積立金	0	
5. 予備費	69,892	廃棄物処分料ほか
歳出合計	4,870,892	

歳入歳出差し引き額 277,892円は次年度へ繰り越し

支部
これから

「令和7年度の支部活動から」



役員組織に関して、専門部の一部を庶務が兼務する等の工夫をして運営しています。支部活動の主なものを紹介します。

・総会終了後の講演会は、南会津町の「まちづくり出前講座」から「情報活用力講座（マイナンバーカードの利用・活用を中心に）」の内容で総合政策課の担当者を講師に迎えて実施しました。利用方法・更



南会津支部 支部長 星 文人

新手続き・保険証・運転免許証等、我々高齢者にとって関心の高いタイムリーなテーマだったので有意義な講話になり好評でした。

・会員の健康と親睦を図ることを目的に福祉部の担当する研修会（パークゴルフ）が定着したのになっています。他の退職公務員関係団体の支部と連携した下郷町の公認コースでの事業になっています。

・女性部研修会は、国の伝統的建造物群保存地区である「大内宿」で「ディープ大内宿を体験しませんか～あなたの知らない大内宿の昔と今～」というテーマの研修でした。女性部長佐藤さんの案内で歴史・地理・暮らしの視点で学ぶ機会になりました。



ふれあい

「地域のために海岸清掃」



いわき支部は施設慰問や親睦旅行を実施してきました。そんな中、コロナ禍の影響を受けた令和2年からは事業の中止を余儀なくされました。

令和5年は感染防止に知恵を絞り一部事業を再開しましたが、インフルエンザの流行が重なり中止となりました。そこで、令和6年に四倉海岸の清掃活動を開始し、令和7年は7月2日に実施し、20名が参加しました。ここでは会員の感想を紹介します。

私は、四倉出身のため小学校時代に経験した「海水浴客を迎えるための清掃活動」を思い出し、なつかしい気分で活動しました。

私は、ナイロン、ビニール、ガラス、ペットボトルなど自然に分解せず危険なものを中心に拾うよう心がけました。参加者の皆さんも流れ着いた木片を集め、中には大物を引き

いわき支部 事務局長 団 野 勝 一

ずってきたりして、満足そうなお顔でゴミ集約場所に集まりました。

私の一番の感想は、昔の思い出と比較した印象となりますが、ゴミがずいぶん少ないということです。昔と比べてゴミ収集の生活習慣が定着し、日本人のマナーが向上したなどの理由も大きいとは思いますが…。一方で「これって絶対に海岸を訪れる人が減っているのだ」とも感じました。実際、夏に四倉海岸を訪れましたが、あまりの海水浴客の少なさにびっくりしました。あの広い海岸に客は50人もいません。この状況ではゴミも出ないなど考え、ゴミの少なさを逆に寂しく感じてしまいました。最盛期には万単位の客が訪れていたのが夢のようです。昔は夏のレジャーは海水浴ぐらいしかなかったのでしょうか。思わぬことで時代の流れを感じましたが、皆さんとの共同作業は楽しい時間でした。

<年金情報コーナー>

令和8年度の年金額は前年度から

国民年金(基礎年金)が1.9%の引上げ 厚生年金(報酬比例部分)が2.0%の引上げ

厚生労働省の発表により、令和8年度(2026年度)の年金額は、令和7年度から国民年金(基礎年金)が1.9%引上げ、厚生年金(報酬比例部分)が2.0%引上げられます。

引上げは令和7年6月の支給分から。(年金は年6回、偶数月に前月と前々月の分がまとめて支給されるため。)

令和8年度の年金額の例

	令和7年度 (月額)	令和8年度 (月額)
国民年金 ^{※1} (老齢基礎年金(満額):1人分)	69,308円	70,608円 (+1,300円)
厚生年金 ^{※2} (夫婦2人分の老齢基礎年金を含む標準的な年金額)	232,784円	237,279円 (+4,495円)

※1 昭和31年4月1日以前生まれの方の老齢基礎年金(満額1人分)は、月額70,408円(対前年度比+1,300円)です。

※2 男性の平均的な収入(平均標準報酬(賞与含む月額換算)45.5万円)で40年間就業した場合に受け取り始める年金(老齢厚生年金と2人分の老齢基礎年金(満額))の給付水準です。

年金額は、物価や賃金の変動に応じて、毎年度改定されますが、「物価変動率>名目手取り賃金変動率」の場合は、支え手である現役世代の負担能力に応じた給付とする観点から名目手取り賃金変動率を用いるとされています。

これに加えマクロ経済スライドによる調整が行われます。

令和8年度の場合、「物価変動率3.2%>名目手取り賃金変動率2.1%」なので、2.1%を用い、これに、マクロ経済スライドによる調整が、国民年金(基礎年金)では▲0.2%、厚生年金(報酬比例部分)では▲0.1%行われます。

マクロ経済スライドによる調整率が異なるのは、令和7年の年金制度改正により、次期財政検証翌年度(令和12年予定)まで厚生年金(報酬比例部分)のマクロ経済スライド調整を継続することとされ、この措置により、厚生年金受給者に不利にならないよう、この間の厚生年金の調整率を1/3にすることとされているため。

なお、マクロ経済スライドによる調整▲0.2%の内訳は、次のとおりです。

- ・公的年金被保険者総数の変動率(公的年金を支えている現役世代の増減)で 0.1%
- ・平均余命の伸び率で ▲0.3%

++++【事務局だより】++++

お悔み

郡山支部長の村上光市氏(副会長)が1月27日に急逝されました。

前いわき支部長の高木清氏(前副会長)が2月1日に、前福島支部長の荒海健二氏(前副会長)が3月10日に逝去されました。

心よりご冥福をお祈りし、衷心より哀悼の意を表します。

場所 郡山市 ビッグパレット
9月9日(水) 県大会(会津大会)
場所 会津美里町 じげんホール

編集後記

退任された室井前会長には、11年もの長きにわたり本会をリードしていただき、誠にありがとうございました。今後は畠会長のもと、一つ一つの課題に取り組んでいきたいと思っております。

春を迎え、各支部とも新体制でのスタートを切ったことと思います。今年度も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

◎今後の予定

- 5月8日(金) 第1回理事会
- 5月13日(水) 令和8年度支部連絡会議